

五小っ子

平成29年度 学校便り第21号（1月12日）

島原市立第五小学校
校長 永田 俊文



学校教育目標
『進んで学び、思いやりの心を持ち、
心身ともにたくましい子どもを育成する』
○ やさしさいっぱい ○ かしこさいっぱい ○ たくましさいっぱい
教育目標実現を目指し、子どもたち一人ひとりを大切にし、全職員で力を
合わせ、日々の教育活動に取り組みます。

3学期始業式

新年おめでとうございます。



1月9日の3学期始業式では、「冬休み中、一人の事故もなく無事に始業式を迎えることができた事、それが五小の先生達にとって一番のお年玉です。」と子どもたちにまず伝えました。

また、一年で一番寒くて一番短い学期である事、次の学年への準備をするための大切な学期であることも話しました。

1年生から5年生は52日、6年生には48日しかありません。寒さなんかには負けることなく、元気いっぱい過ごすようにと励ましました。

1年生は4月に入学してくる新しい1年生56名のお兄さんお姉さんになる準備を今日から始めること、2年生から5年生も一つ上の学年の準備をそして6年生は中学生となる準備を始めます。

短い学期ですが、やることが沢山ある3学期が充実したものになるよう、祈っています。

今年2018年は戌年です。『戌年はまた、次なるステップへの準備の年とも位置づけられています。何か新しく物事を始め、挑戦するにはグッドタイミングとされています。これまで頑張ってきたことが実る年』といわれています。皆さんの努力をこれからも続けていくのですよ。

この一年、平和におだやかに、そして元気良く過ごしましょう。と結びました。

本年も保護者・地域の皆様の御支援と御協力をお願いいたします。

始業式の後、5年生2名が「新年の抱負」を発表してくれました。



真新しい雑巾
新学期の大好きな光景です

鬼火焚き

1月7日、安中区青少年健全育成協議会・安中長寿会連合会・五小育友会主催による鬼火焚きが今年も盛大に開催されました。



年末の『安中梅林剪定作業』をはじめとした「**驚くべき地域力**」により、竹の切り出しと運搬、やぐらづくり等々例年通りに整いました。年末、前日・当日早朝から沢山のの方々のご苦勞に支えられての伝統行事にあらためて感謝申し上げます。

開会行事に続き、5・6年生によって点火されました。「パンパン」という大きな音をたてて竹がはじけます。

勢い良くはじける音で（厄・災難・病氣）を追い払うといわれています。

消防団（今年は15分団）の心強い存在がないと安心して鬼火を行うことが出来ません。

最後になりますが、お世話いただきました沢山の地域の皆様方にもう一度心から感謝申し上げます。「地域皆様のおかげで、今年も良い一年になります。いえ、子どもたちと全職員で力を合わせ、良い一年にいたします。」


もう一つ、来年は小中学生の参加がうんと増えるように呼びかけます。

※スナップ写真はHPに掲載していますのでご覧ください。

4月からは2年生に を あいことばに がんばろう

21名の子どもたちに宛てた年賀状それぞれに、一文字の暗号が書かれてありました。始業式の日持ち寄ったその暗号をつなげると『3学期のめあて』（21文字）が完成したのです。子どもたちは「**暗号が解けた！**」と大喜び！！

始業式で喜ぶ子どもたちの顔を思い浮かべながら宛名を書く、担任の温かさが伝わってきました。



子ども頃、雪が降り出すと大喜びで空を見上げたことがありませんか。
次から次に落ちてくる雪が顔にかけ、目に入り冷たく感じた感覚が残っていませんか。
冷たさを我慢して目を開けたままにしていて、自分の身体が空へすいこまれていくような、そんな体験を子どもたちにも是非させてあげたいと思います。雪の降る日に

ゆきがふる
まじ
みちお

ふるふる ふるふる ゆきがふる
ゆきをみあげて たつぽくに
ふるふる ふるふる ゆきがふる
とつぜん ぼくはのぼつてく
せかいじゅうからただひとり
そらへそらへと のぼつてく
ふとぎがつくと ゆきがふる
ゆきをみあげて たつぽくに
ふるふる ふるふる ゆきがふる

※五小HPアドレスを移動します。詳しくはHPからご覧ください。